



# 第8回 円空賞

にしの・よういち

西野 陽一

Yoichi Nishino



国籍 日本  
京都府生まれ  
生年 1954年  
職業 画家

## 作家略歴

- 1954 京都市に生まれる  
1978 京都市立芸術大学日本画科卒業  
1982 東京セントラル美術館日本画大賞展出展(同'84'88'94)  
1985 個展 京都堺町画廊  
1988 個展 東京セントラル絵画館(同'90'93)  
1993 二人展(栗原幸彦)高島屋(東京・京都・大阪)  
1997 個展「竜宮'97」高島屋(東京・京都・横浜・大阪)  
1998 NEXT展(以降10回開催 高島屋 京都店)  
個展 相模屋美術店  
2001 梅原猛と33人のアーティスト展 高島屋(東京・京都・大阪)  
個展「鳥」(日本橋三越・心斎橋大丸)  
2002 第20回京都府文化賞奨励賞受賞  
2003 個展 アマゾン'03(高島屋各店)  
2005 第2回日経日本画大賞展出品('06第3回展)  
2006 第19回京都美術文化賞受賞(京都中央信用金庫基金)  
個展「密林行」三越(日本橋・名古屋)  
2007 個展「目細しきものたち」(心斎橋そごう)  
個展「水の国」(松坂屋)  
2008 第26回京都府美術文化賞功労賞受賞  
個展 ネオ・ジャポニズム(アートフェア東京・彩鳳堂画廊)  
2009 梅原猛と10人のアーティスト展(以降2回開催)  
個展 東美アートフェア・春 丸栄堂  
2010 個展 相模屋美術店  
2011 個展「アマゾン2011」(三越)  
成都美術ビエンナーレ出品  
2014 梅原猛と25人のアーティスト展(高島屋各店)  
2015 個展「竜宮'15」(高島屋各店)

## 選評

動物画は円山四条派以来の京都画壇の伝統であるが、西野陽一氏の動物画は伝統的なそれとはいささか趣を異にする。西野氏は、自然の中で生きる野生動物を観察せずに描こうとしない。彼は知床で野生のヒグマを観察しようとしてヒグマに襲われそうになり、またアマゾンの奥地でも危険に遭遇したという。そのような彼はとりわけ海中の生物を描くことを得意とし、最近、おそらく他の誰によつても描かれなかつた絢爛たる海中生物の王国を描いている。そこでは、弱肉強食の世界に生きつつも生命そのものがもつ喜びや悲しみが歌われているかのようである。

選考委員長 梅原 猛(国際日本文化研究センター顧問)

## 第8回 円空賞

西野 陽一  
*Yoichi Nishino*



「勇魚」 1993年  
四曲一双



「森の家族」 2009年  
四曲一双



「穂波」 2001年  
四曲一双